

ヤブツバキ（リングツバキ）

[木本] 《忌避》



葉は硬く艶がある。



花期は冬から春。



樹皮は淡色で平滑。

区別のポイント

葉の表面は濃緑色で光沢がある。縁は細かい鋸歯がある。樹皮は褐灰色～黄褐色で平滑。屋久島の通称リングツバキは、リンゴのように大きく赤い実を付けることから。大部分は厚い果皮。

形態 常緑高木。高さ5～6m。

分布 日本全国（ヤブツバキ）

名前の由来 厚葉木からツバキ。寿津葉木は葉に艶があることから。

葉 〈全体〉長楕円形～卵状楕円形で長さ5～10cm、幅3～6cm。革質で光沢がある。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉1～1.5cm。 〈基部〉くさび形～円形。

〈葉先〉鋭尖頭。

〈縁〉細かい鋸歯。

備考 9では中。堅い葉を嫌っている可能性。九州では、好きな樹木となっている。長崎の野崎島ではディアラインが形成されているとの報告あり。将来は嗜好種になる可能性。

出典 1, 9, 14